

営業地区内お取引先企業の 景気動向調査レポート

[2022年4～6月期]

調査要領

- ◆調査時期 2022年6月上旬
- ◆調査対象期間 2022年4～6月期(第1四半期)実績
2022年7～9月期(第2四半期)予想
- ◆調査対象先 当金庫取引先 526先
- ◆調査地域 (但陽信用金庫の営業店所在地)
 - ①東播磨地域 … 加古川市、高砂市、稲美町、播磨町
 - ②姫路地域 … 姫路市
 - ③朝来・神崎・加西地域 … 朝来市、神河町、市川町、福崎町、加西市
 - ④全営業地区 … ①、②、③の合計
- ※業種別調査地域
 - A.東播磨地域 … 加古川市、高砂市、稲美町、播磨町
 - B.姫路地域 … 姫路市
 - C.全営業地区 … 上記④と同様の地域
- ◆調査方法 渉外担当者による聞き取り調査

- ◆分析方法 D.I. による分析

※ D.I. (Diffusion Index)とは

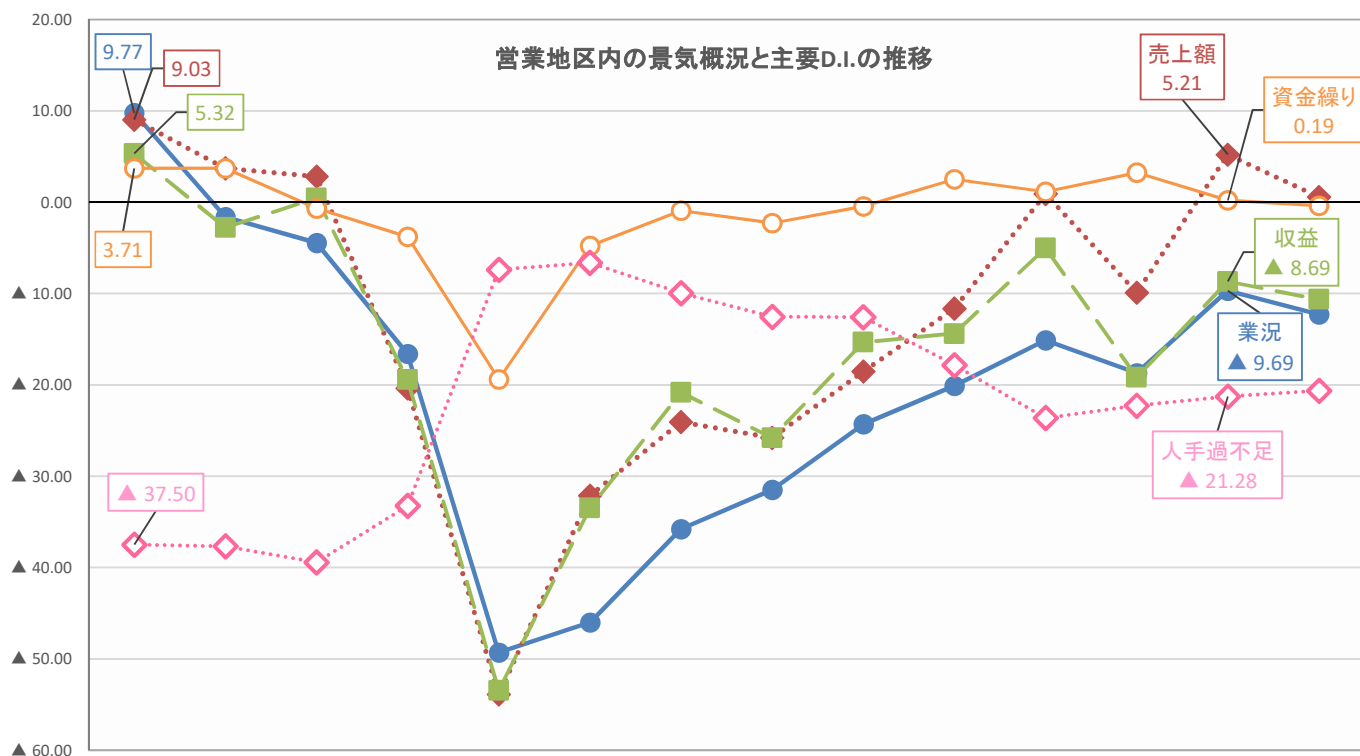
「良い」「増加」「上昇」「過剰」「楽」と回答した企業の占める割合と、「悪い」「減少」「下降」「不足」「苦しい」と回答した企業の割合との差により、景気の方向を判断する指数

- ◆調査依頼先および回答状況

	依頼先数	回答数	回答率
製造業	192	191	99.5%
サービス業	81	79	97.5%
不動産業	30	30	100.0%
小売業	68	66	97.1%
卸売業	49	48	98.0%
建設業	106	104	98.1%
合計	526	518	98.5%

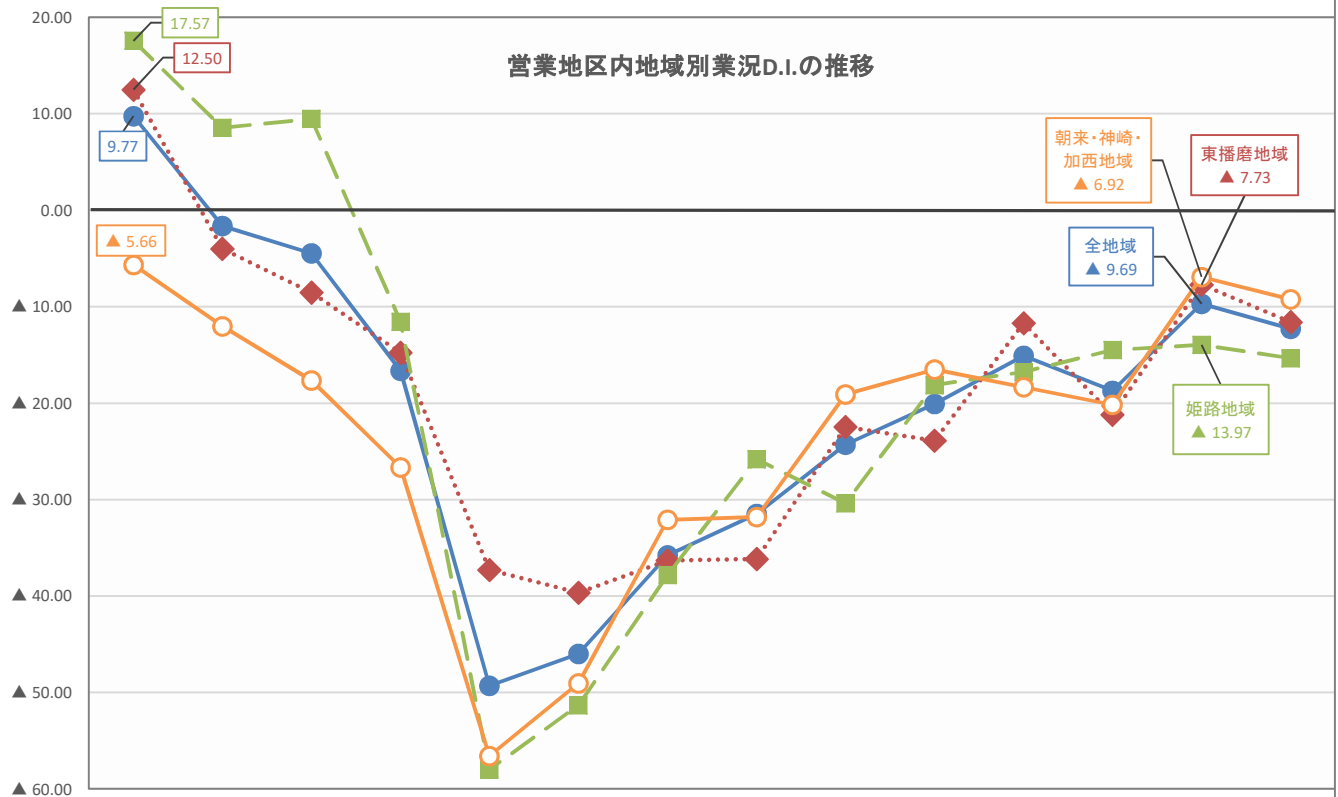
今期の全地域・全業種における業況D.I.は▲9.69と前期から9.02ポイント改善しています。売上額D.I.・収益D.I.・人手過不足D.I.で改善がみられ、売上額D.I.のみがマイナス域を脱しました。また、資金繰りD.I.は低下しましたがプラス域を維持しています。来期は人手過不足D.I.が若干改善するものの、業況D.I.・売上額D.I.・収益D.I.・資金繰りD.I.が軒並み低下する厳しい予想となっています。巻末の特別調査「経済社会情勢において懸念していること」について、最大3つまでの複数回答1063件の約半数を「エネルギー、エネルギー以外の価格高騰」の回答が占め、「エネルギー価格の上昇による収益への影響」については回答企業の約8割にあたる411社が「悪影響がある」と回答されており、ウクライナ情勢の悪化・長期化による原材料・燃料価格高騰が、景気に悪影響を与えることが懸念されます。

営業地区内の景気概況と主要D.I.の推移

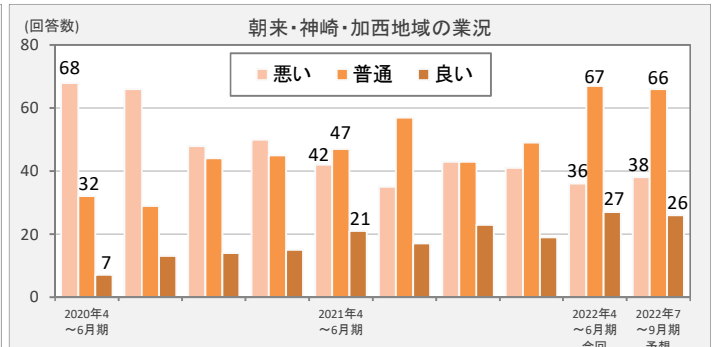
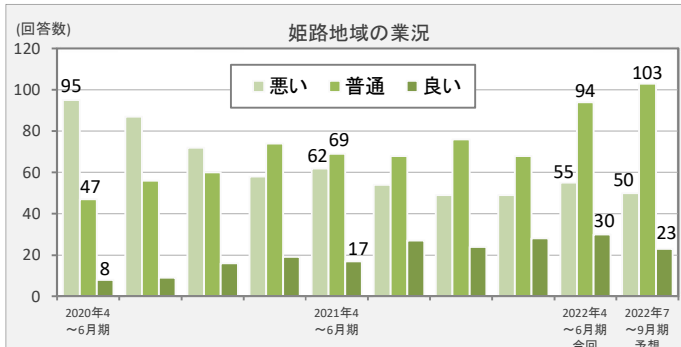
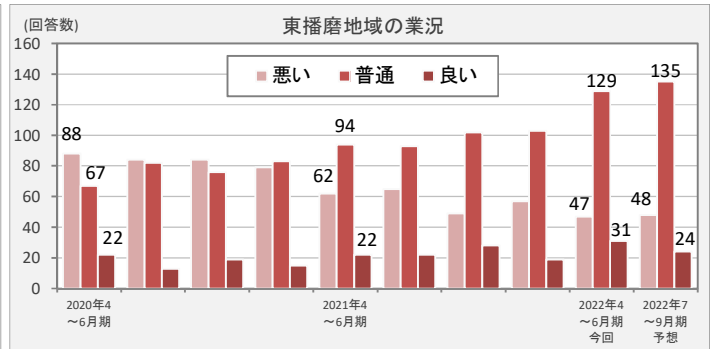
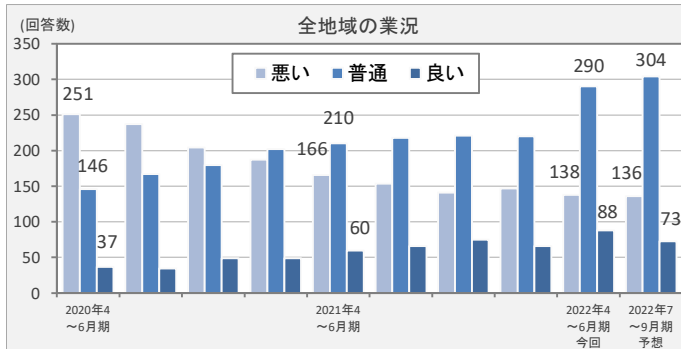


	2019年4 ～6月期	2019年7 ～9月期	2019年10 ～12月期	2020年1 ～3月期	2020年4 ～6月期	2020年7 ～9月期	2020年10 ～12月期	2021年1 ～3月期	2021年4 ～6月期	2021年7 ～9月期	2021年10 ～12月期	2022年1 ～3月期	2022年4 ～6月期 (今回)	2022年7 ～9月期 (予想)
業況	9.77	▲1.63	▲4.46	▲16.63	▲49.31	▲46.01	▲35.80	▲31.51	▲24.31	▲20.09	▲15.10	▲18.71	▲9.69	▲12.28
売上額	9.03	3.70	2.81	▲20.38	▲53.92	▲32.12	▲24.07	▲25.80	▲18.54	▲11.64	0.91	▲9.93	5.21	0.58
収益	5.32	▲2.78	0.47	▲19.43	▲53.46	▲33.49	▲20.83	▲25.80	▲15.33	▲14.38	▲5.01	▲19.17	▲8.69	▲10.64
資金繰り	3.71	3.70	▲0.70	▲3.80	▲19.40	▲4.78	▲0.92	▲2.28	▲0.46	2.52	1.14	3.24	0.19	▲0.39
人手過不足	▲37.50	▲37.67	▲39.44	▲33.25	▲7.39	▲6.64	▲9.95	▲12.56	▲12.59	▲17.85	▲23.62	▲22.27	▲21.28	▲20.66

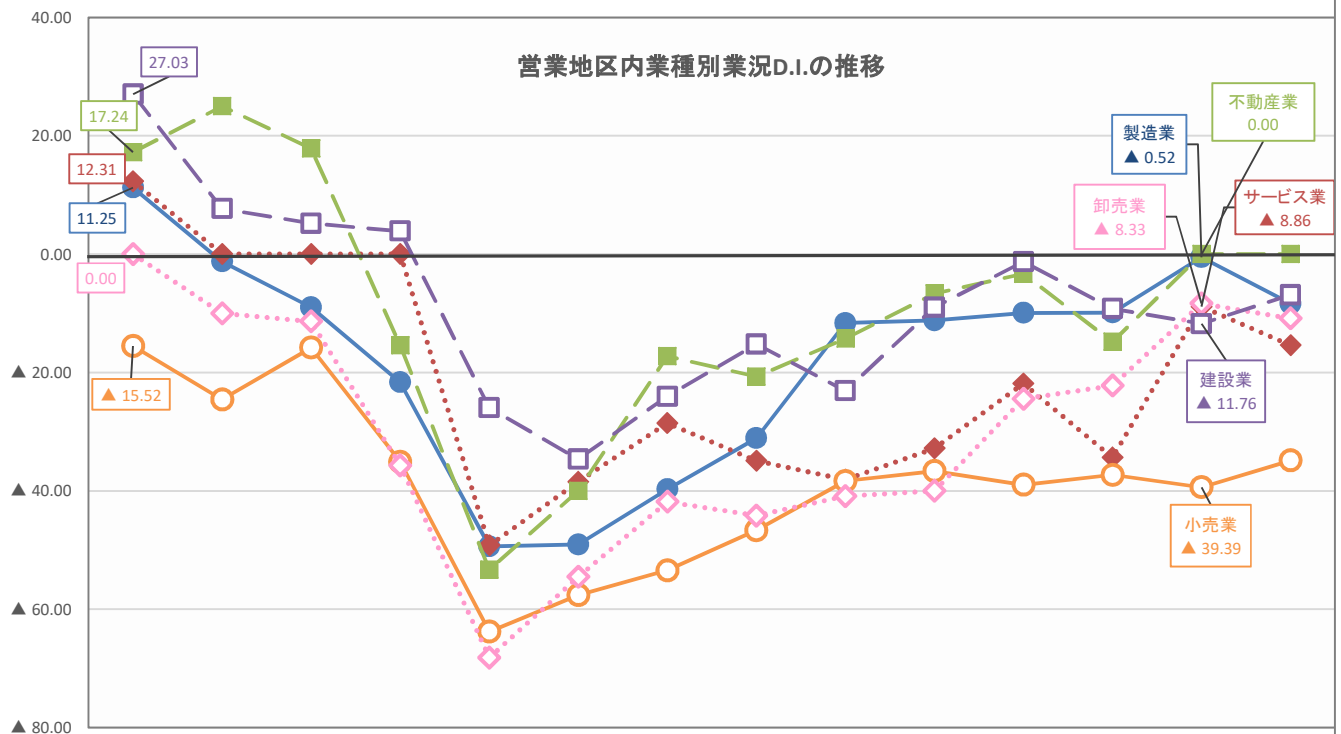
今期の地域別業況は、東播磨地域が▲7.73 と前期から 13.50 ポイント改善し、姫路地域は▲13.97 と 0.51 ポイントの改善、朝来・神崎・加西地域は▲6.92 と 13.26 ポイント改善した結果、全地域も 9.02 ポイント改善し、▲9.69 となりました。来期は、東播磨地域が 3.86 ポイント低下、姫路地域が1.37 ポイント低下、朝来・神崎・加西地域は2.31 ポイント低下と、今期の改善にもかかわらず全地域および全ての地域別で低下し、マイナス幅が拡大する予定です。



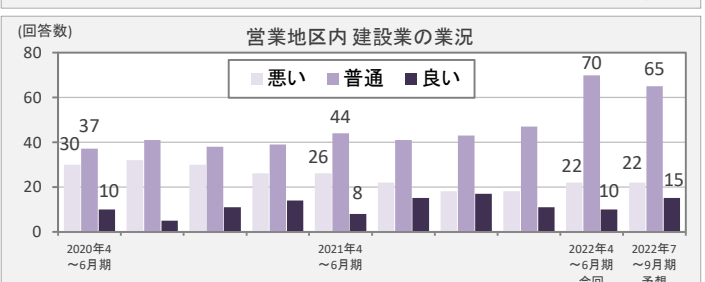
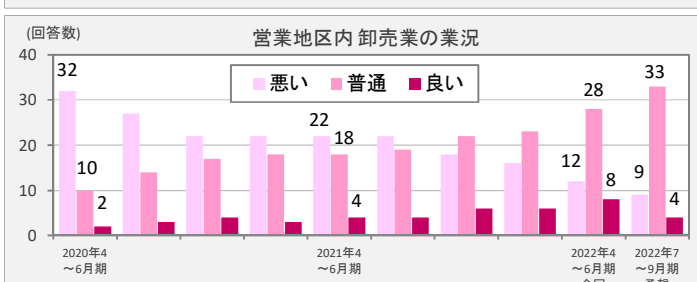
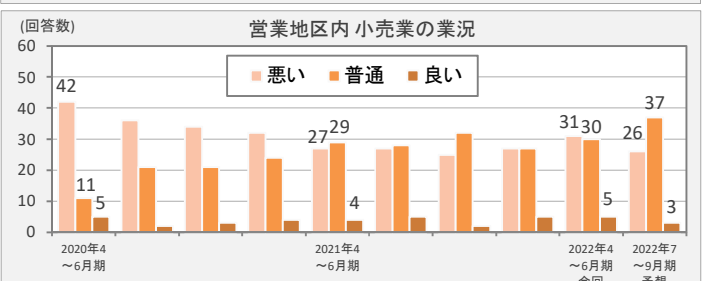
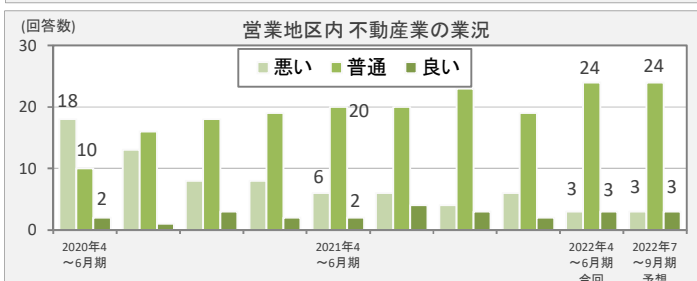
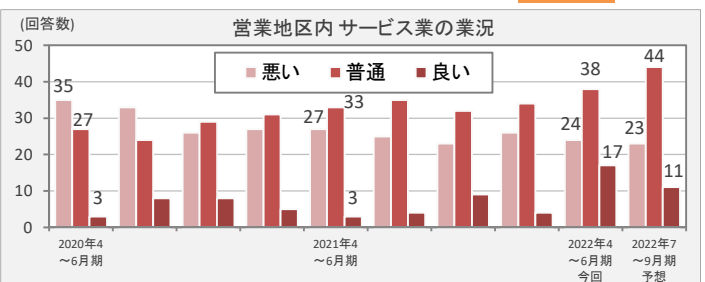
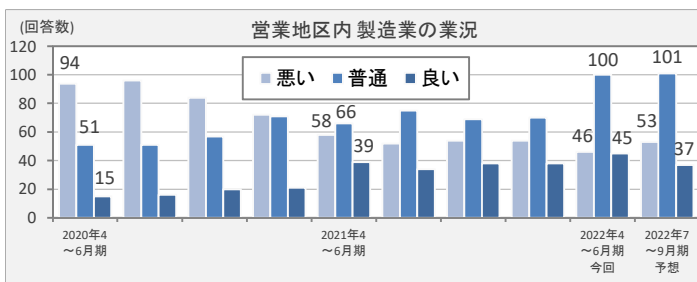
	2019年4月～6月期	2019年7月～9月期	2019年10月～12月期	2020年1月～3月期	2020年4月～6月期	2020年7月～9月期	2020年10月～12月期	2021年1月～3月期	2021年4月～6月期	2021年7月～9月期	2021年10月～12月期	2022年1月～3月期	2022年4月～6月期(今回)	2022年7月～9月期(予想)
全地域	9.77	▲1.63	▲4.46	▲16.63	▲49.31	▲46.01	▲35.80	▲31.51	▲24.31	▲20.09	▲15.10	▲18.71	▲9.69	▲12.28
東播磨地域	12.50	▲4.00	▲8.52	▲14.79	▲37.29	▲39.66	▲36.31	▲36.16	▲22.47	▲23.89	▲11.73	▲21.23	▲7.73	▲11.59
姫路地域	17.57	8.55	9.46	▲11.56	▲58.00	▲51.32	▲37.84	▲25.83	▲30.41	▲18.12	▲16.78	▲14.48	▲13.97	▲15.34
朝来・神崎・加西地域	▲5.66	▲12.62	▲17.65	▲26.67	▲57.01	▲49.07	▲32.08	▲31.82	▲19.09	▲16.51	▲18.35	▲20.18	▲6.92	▲9.23



業種別では、製造業が▲0.52と9.36ポイントの改善、サービス業が▲8.86と25.52ポイント改善、不動産業が0.00と14.81ポイント改善、小売業が▲39.39と2.10ポイント低下、卸売業が▲8.33と13.89ポイントの改善、建設業が▲11.76と2.55ポイント低下しました。来期は、製造業・サービス業・卸売業が低下、不動産業が横ばい、小売業・建設業が改善する予想となっています。

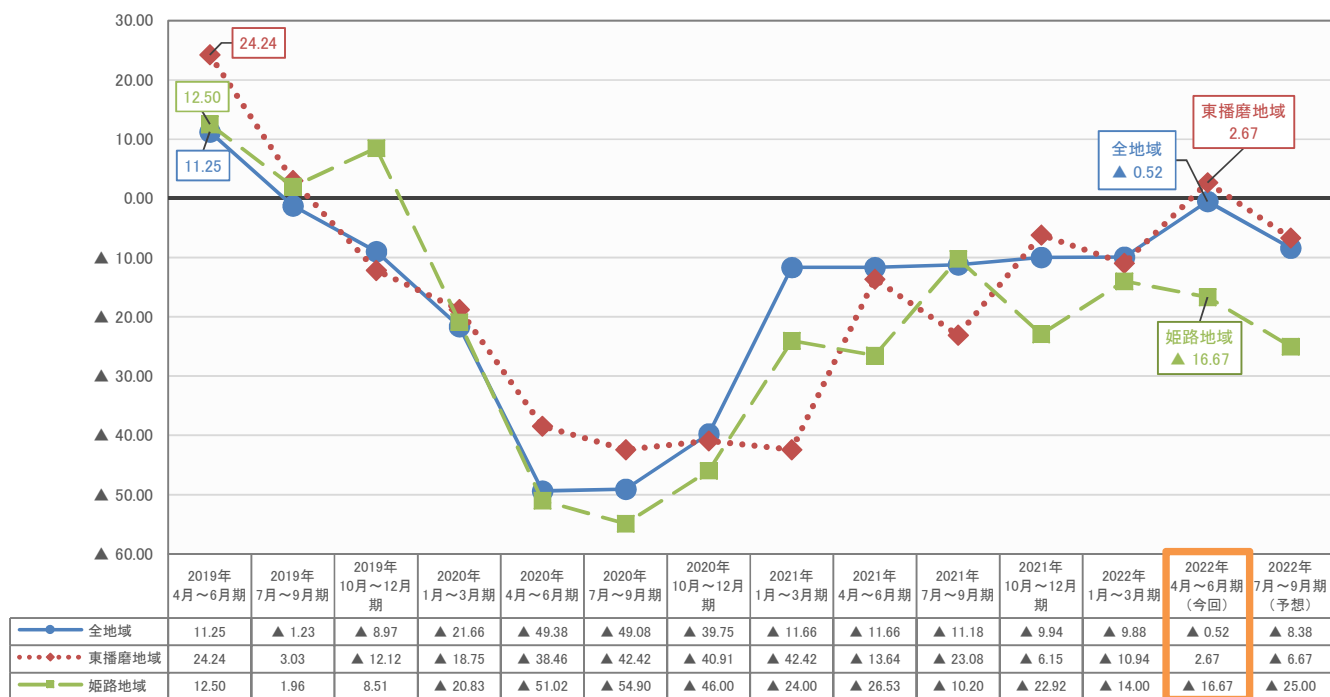


	2019年4月～6月期	2019年7月～9月期	2019年10月～12月期	2020年1月～3月期	2020年4月～6月期	2020年7月～9月期	2020年10月～12月期	2021年1月～3月期	2021年4月～6月期	2021年7月～9月期	2021年10月～12月期	2022年1月～3月期	2022年4月～6月期(今回)	2022年7月～9月期(予想)
製造業	11.25	▲1.23	▲8.97	▲21.66	▲49.38	▲49.08	▲39.75	▲31.10	▲11.66	▲11.18	▲9.94	▲9.88	▲0.52	▲8.38
サービス業	12.31	0.00	0.00	0.00	▲49.23	▲38.46	▲28.57	▲34.92	▲38.10	▲32.81	▲21.88	▲34.38	▲8.86	▲15.38
不動産業	17.24	25.00	17.86	▲15.38	▲53.33	▲40.00	▲17.24	▲20.69	▲14.29	▲6.67	▲3.33	▲14.81	0.00	0.00
小売業	▲15.52	▲24.56	▲15.79	▲35.09	▲63.79	▲57.63	▲53.45	▲46.67	▲38.33	▲36.67	▲38.98	▲37.29	▲39.39	▲34.85
卸売業	0.00	▲10.00	▲11.36	▲35.71	▲68.18	▲54.55	▲41.86	▲44.19	▲40.91	▲40.00	▲24.44	▲22.22	▲8.33	▲10.87
建設業	27.03	7.69	5.19	3.90	▲25.97	▲34.62	▲24.05	▲15.19	▲23.08	▲8.97	▲1.28	▲9.21	▲11.76	▲6.86



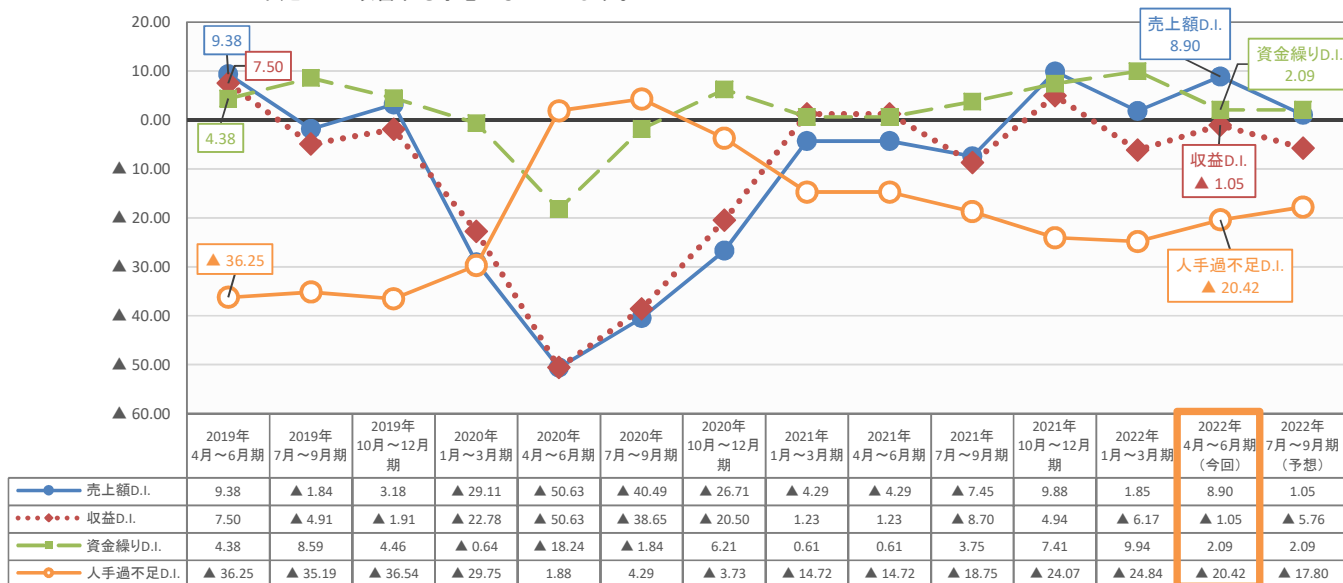
地域別業況D.I.

全地域の業況D.I.は▲0.52と、前期から9.36ポイント改善しています。東播磨地域は2.67と13.61ポイント改善し、2019年9月期以来2年半ぶりにプラス域への復帰となりました。姫路地域では▲16.67と2.67ポイント低下しています。来期は全地域・地域別ともに低下の予想となっています。

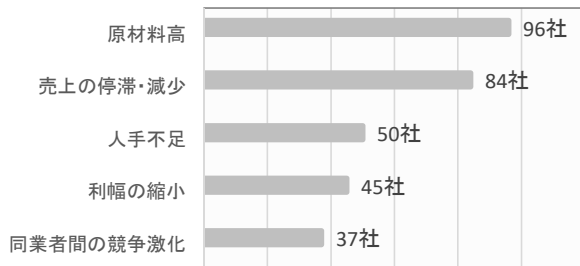


その他主要D.I.

売上額D.I.は7.05ポイント上昇の8.90とプラス域、収益D.I.・人手過不足D.I.も改善しています。資金繰りD.I.は低下しているものの、プラス域を維持しています。来期は売上額D.I.・収益D.I.がマイナス予想、資金繰りD.I.は横ばい、人手過不足D.I.は改善する予想となっています。

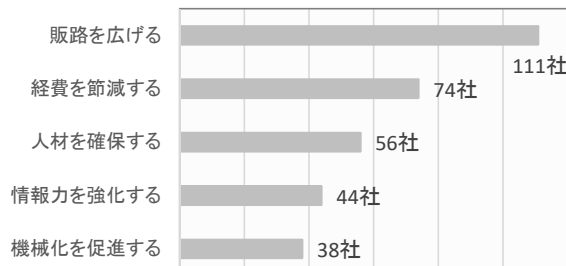


経営上の問題点(複数回答 上位5項目)



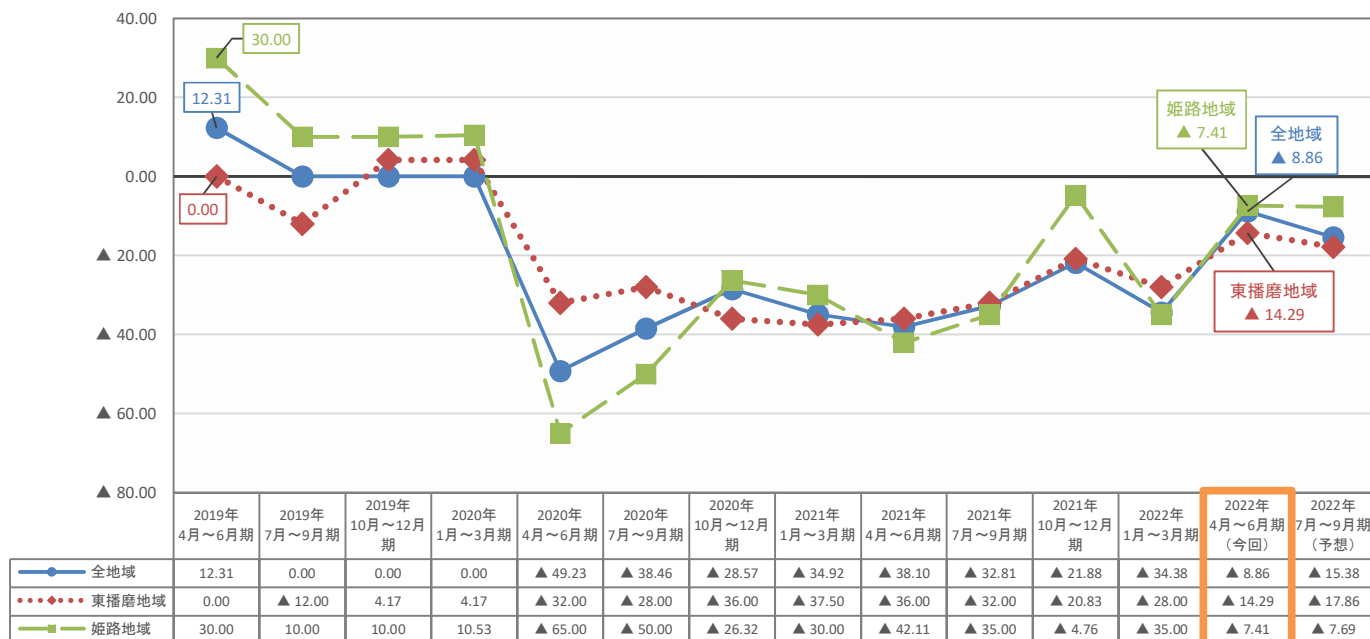
【その他の問題点】・材料調達難・材料不足・技術力の低下 など

当面の重点経営施策(複数回答 上位5項目)



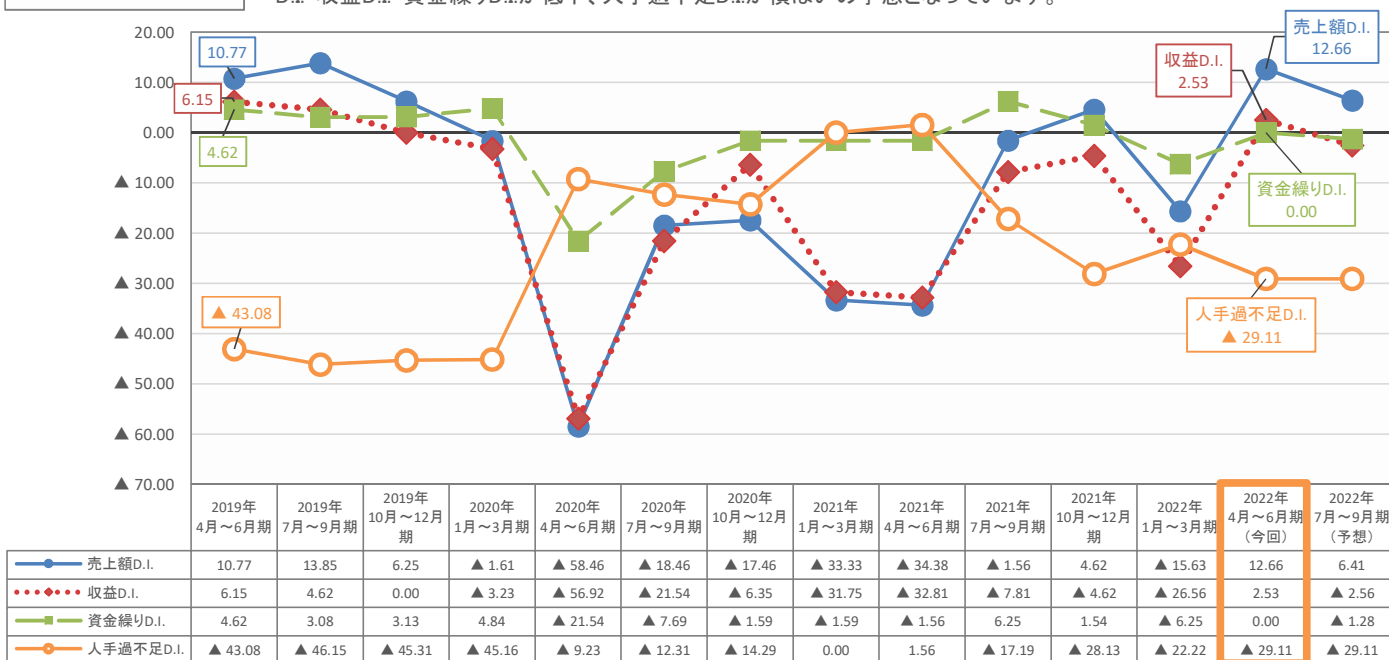
地域別業況D.I.

全地域の業況D.I.は▲8.86と、前期から25.52ポイント改善しています。東播磨地域は▲14.29と13.71ポイントの改善、姫路地域は▲7.41と27.59ポイント改善しています。来期は全地域・地域別ともに低下の予想となっています。

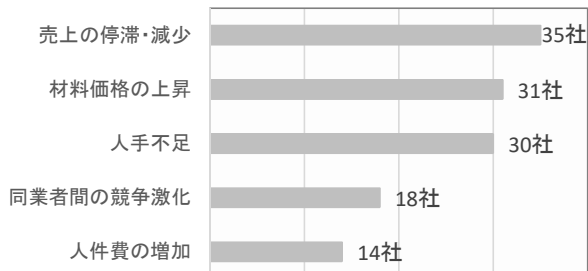


その他主要D.I.

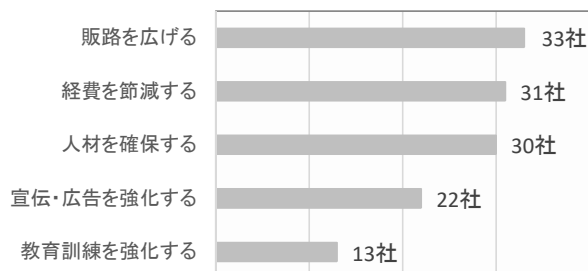
売上額D.I.・収益D.I.・資金繰りD.I.は前期から改善し、人手過不足D.I.は6.89ポイント低下しています。来期は売上額D.I.・収益D.I.・資金繰りD.I.が低下、人手過不足D.I.が横ばいの予想となっています。



経営上の問題点(複数回答 上位5項目)



当面の重点経営施策(複数回答 上位5項目)

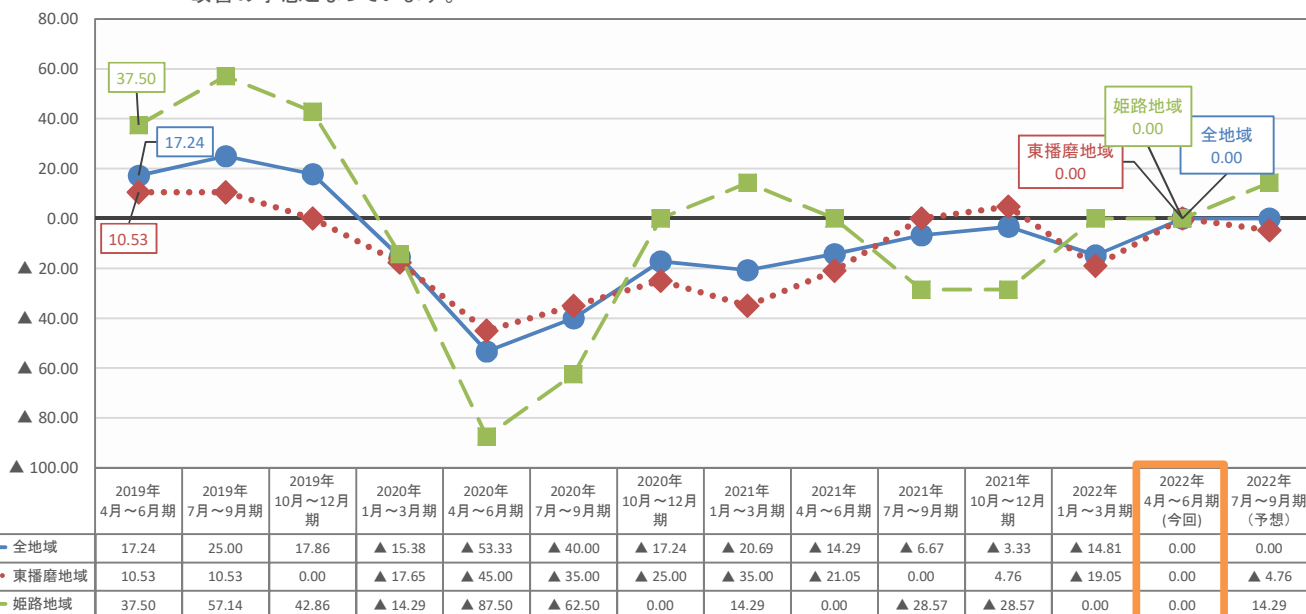


調査員コメント

・コロナ後のGo To補助事業次第(物販・飲食)

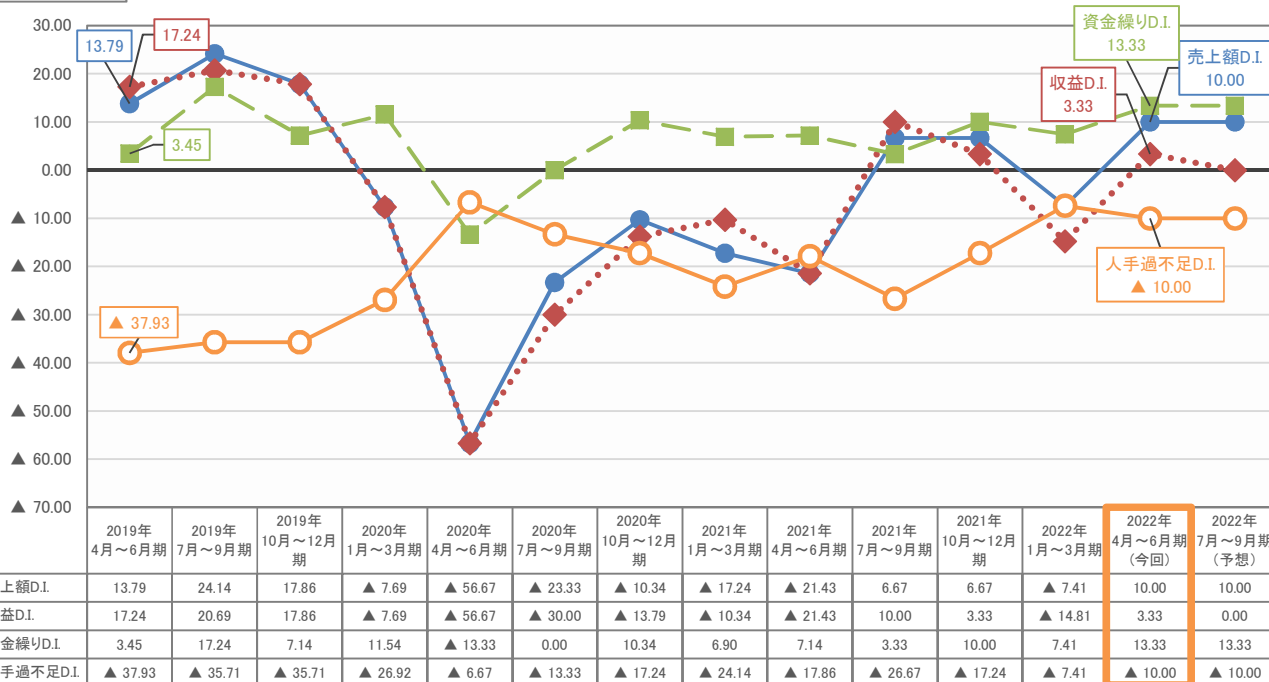
地域別業況D.I.

全地域の業況D.I.は0.00と、前期から14.81ポイント改善しています。東播磨地域は19.05ポイント改善の0.00、姫路地域は前期と横ばいの0.00となっています。来期は全地域で横ばい、東播磨地域は低下、姫路地域が改善の予想となっています。

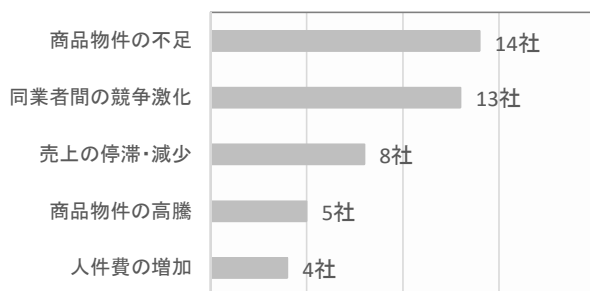


その他主要D.I.

売上額D.I.・収益D.I.・資金繰りD.I.は前期より改善し、人手過不足D.I.は低下しています。来期は売上額D.I.・資金繰りD.I.・人手過不足D.I.が横ばいの予想、収益D.I.は低下の予想となっています。

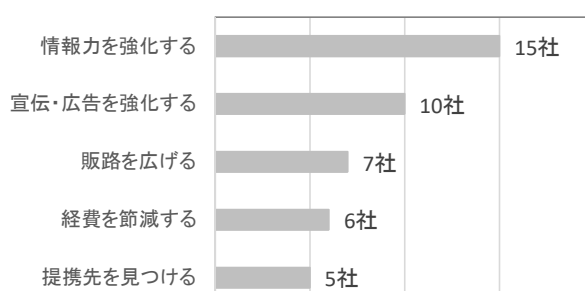


経営上の問題点(複数回答 上位5項目)



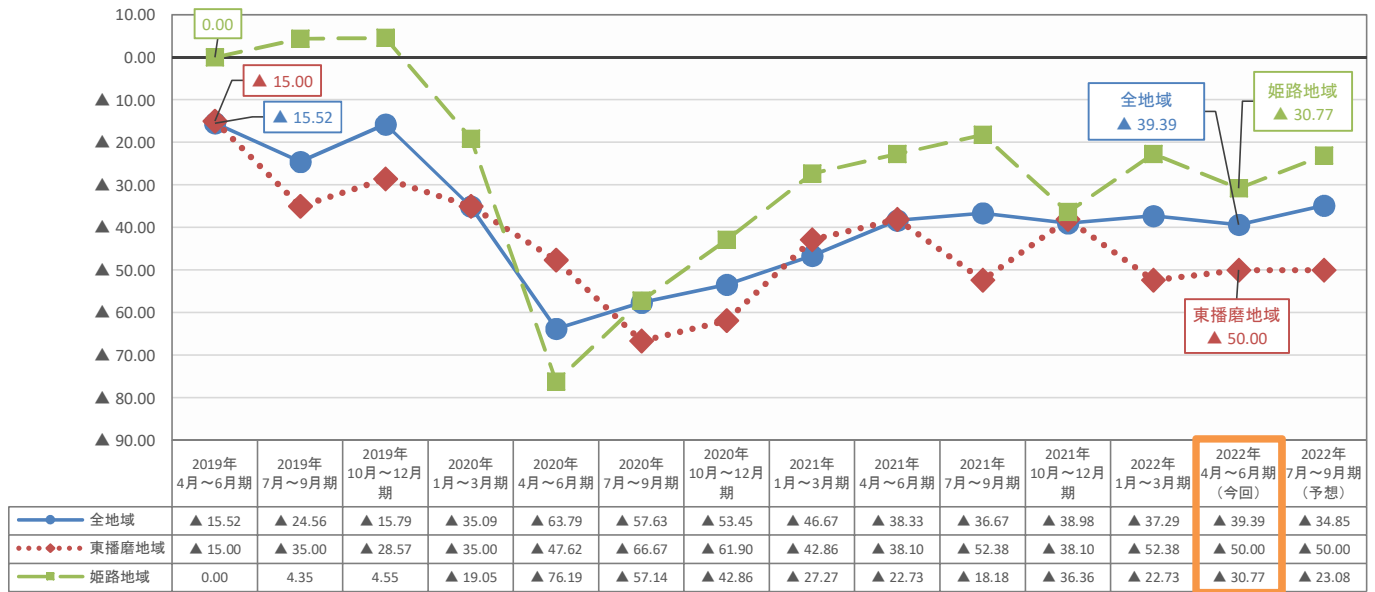
【その他の問題点】・建築資材の高騰 など

当面の重点経営施策(複数回答 上位5項目)



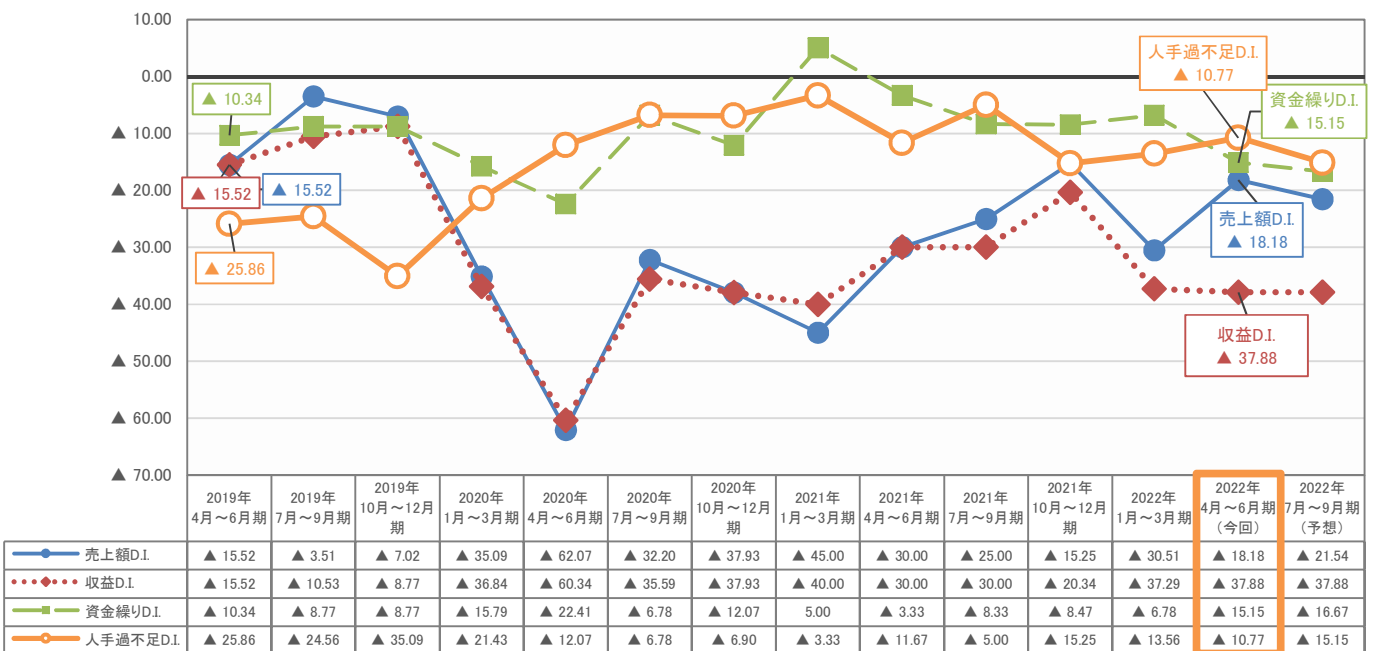
地域別業況D.I.

全地域の業況D.I.は▲39.39と、前期から2.10ポイント低下しています。東播磨地域は▲50.00と2.38ポイント改善、姫路地域は▲30.77と8.04ポイント低下しています。来期は全地域・姫路地域で改善する予想、東播磨地域では横ばいの予想となっています。

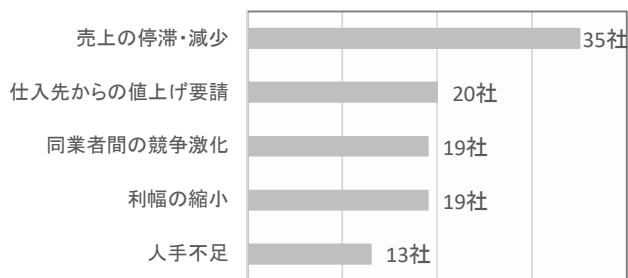


その他主要D.I.

売上額D.I.と人手過不足D.I.は前期から改善し、収益D.I.と資金繰りD.I.は低下しています。来期は売上額D.I.・資金繰りD.I.・人手過不足D.I.が低下、収益D.I.は横ばいの予想となっています。

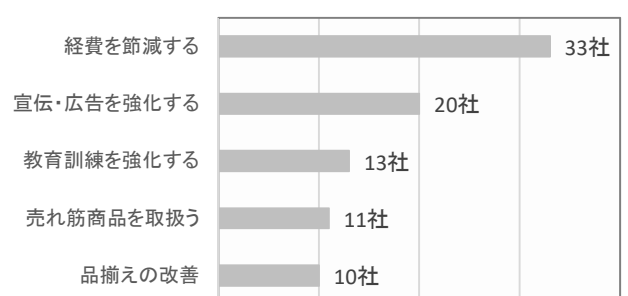


経営上の問題点(複数回答 上位5項目)



【その他の問題点】・輸送費 など

当面の重点経営施策(複数回答 上位5項目)

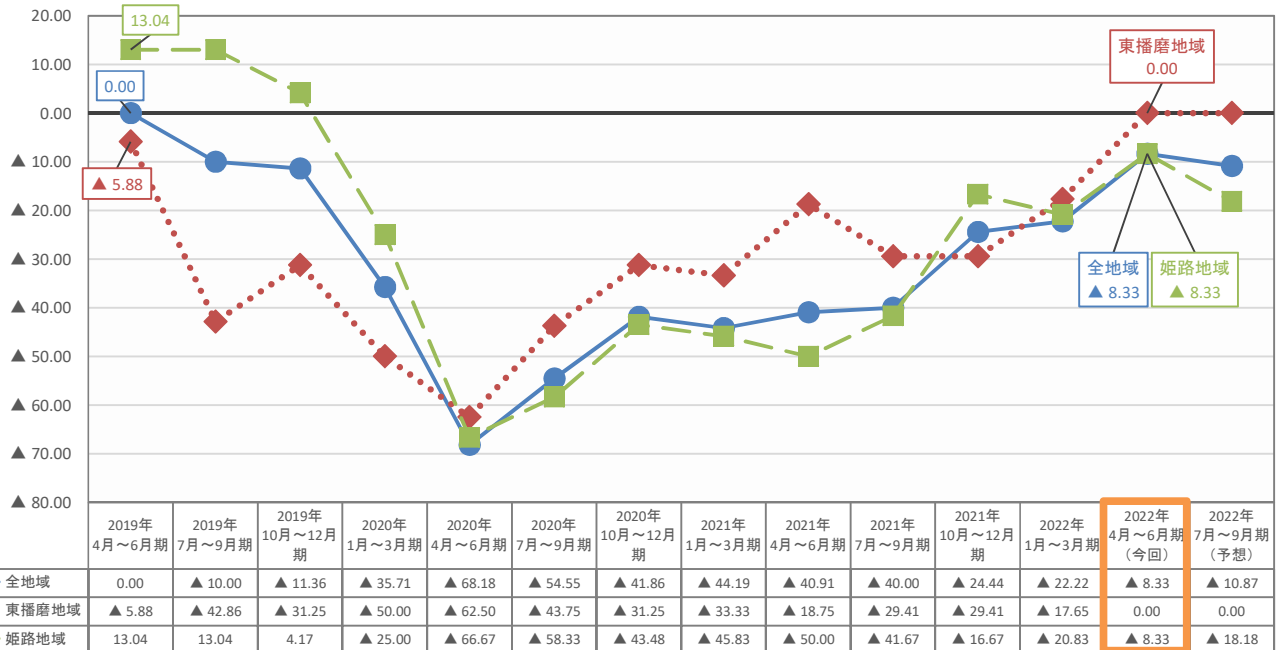


調査員コメント

・原材料の高騰や、世界的な半導体不足による商品の納期遅延などがかなり悪影響を及ぼしている。安定した供給ができないのが致命的（家電販売業）

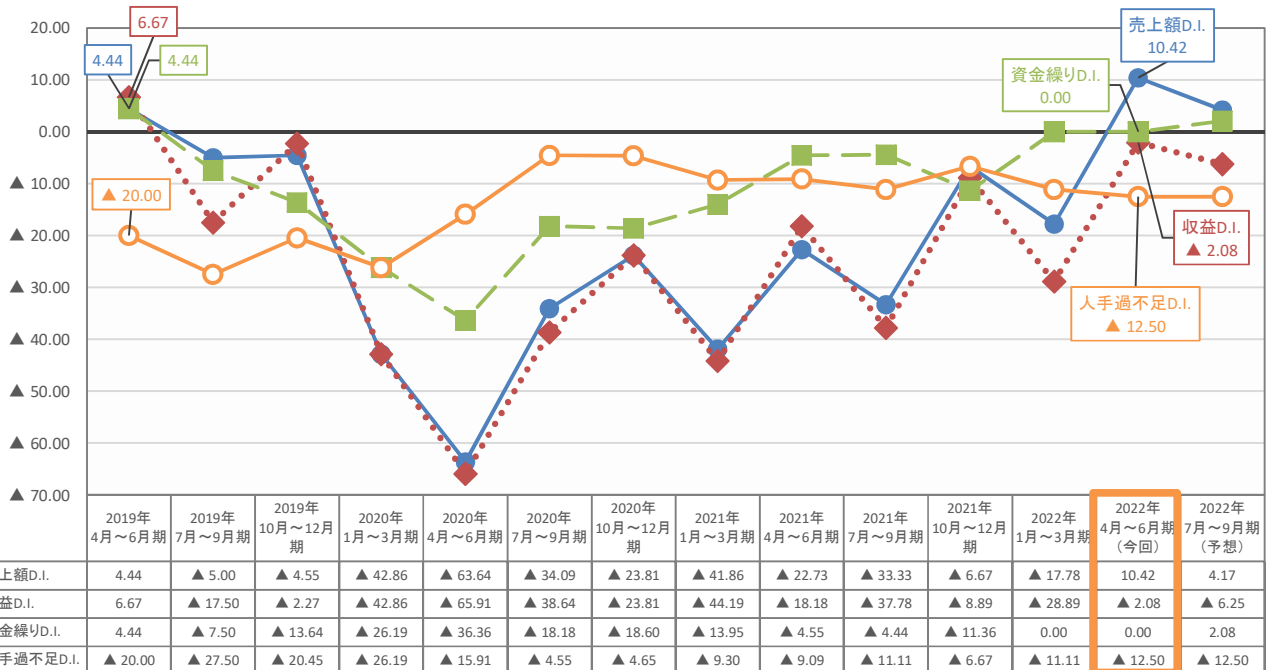
地域別業況D.I.

全地域の業況D.I.は▲8.33と、前期から13.89ポイント改善し、東播磨地域は17.65ポイント改善の0.00、姫路地域は▲8.33と12.50ポイント改善しています。来期は東播磨地域は横ばいながら、姫路地域が低下し、全地域も低下する予想となっています。

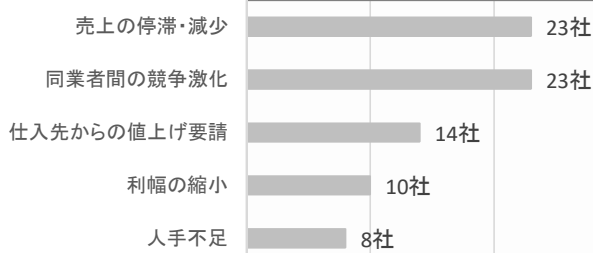


その他主要D.I.

売上額D.I.・収益D.I.は前期から改善し、資金繰りD.I.は横ばい、人手過不足D.I.は低下しています。来期は売上額D.I.・収益D.I.は低下、資金繰りD.I.は改善し、人手過不足D.I.は横ばいの予想となっています。

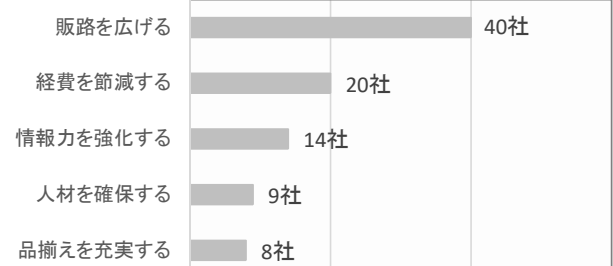


経営上の問題点(複数回答 上位5項目)



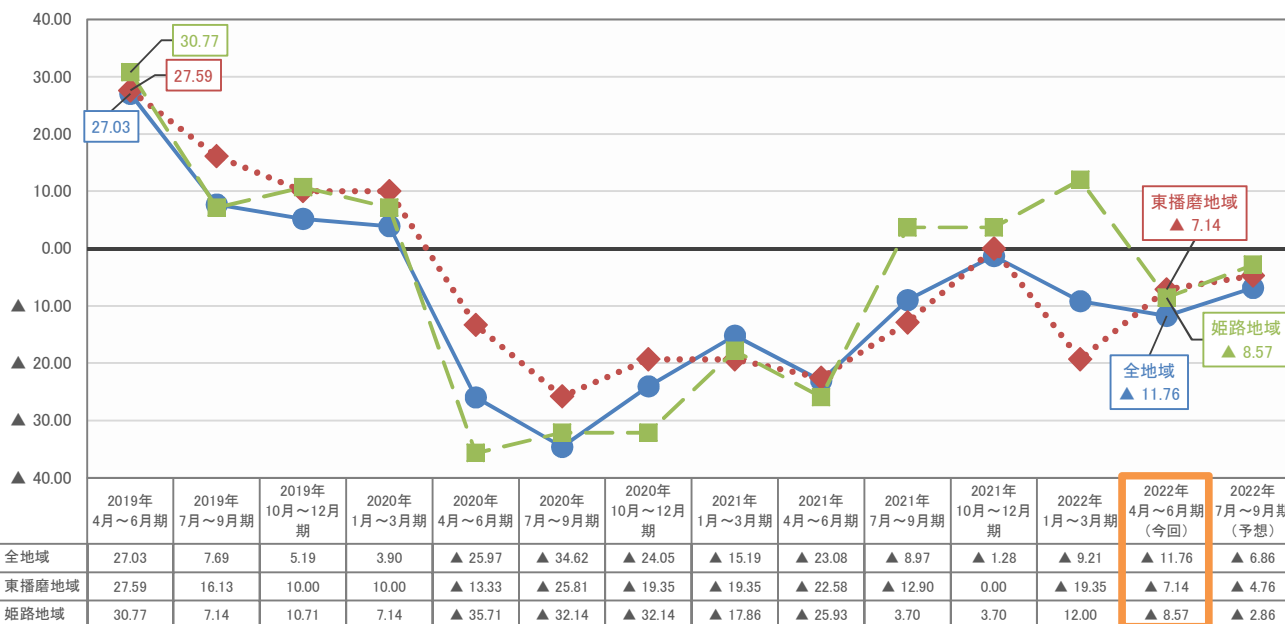
【その他の問題点】・公共事業の減少 など

当面の重点経営施策(複数回答 上位5項目)



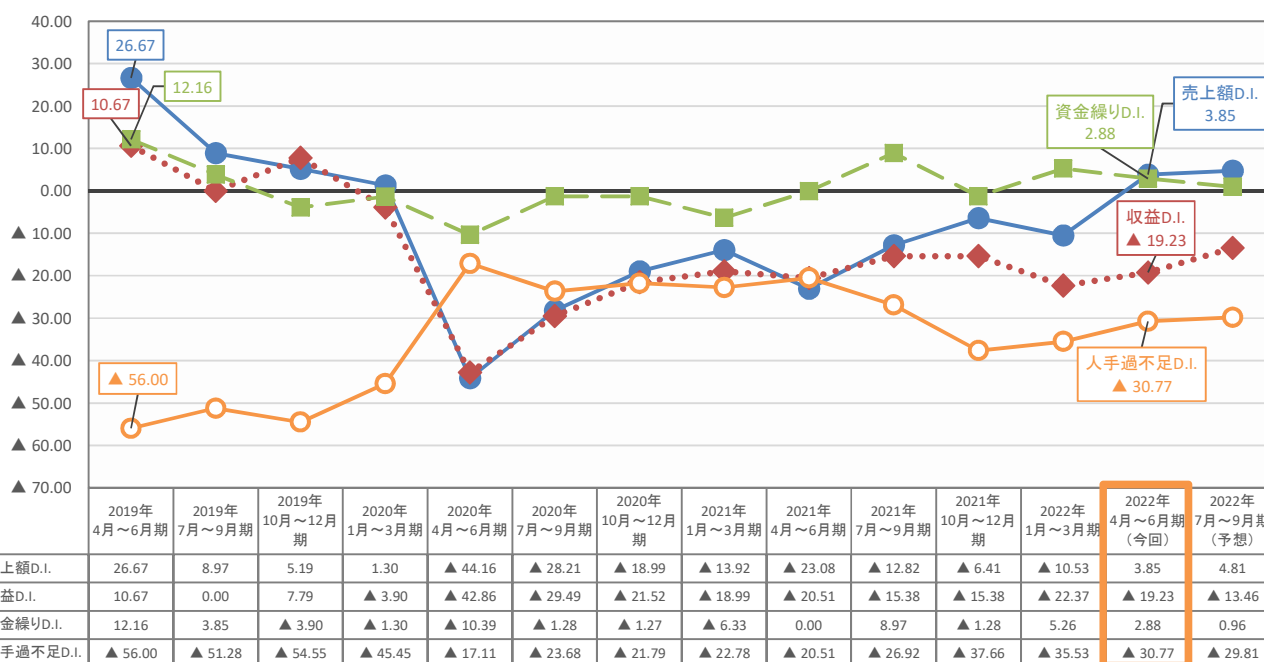
地域別業況D.I.

東播磨地域は▲7.14 と前期から 12.21 ポイントの改善したものの、姫路地域が▲8.57 と 20.57 ポイント低下したことから、全地域の業況D.I.は▲11.76 となり、前期から 2.55 ポイント低下しています。来期は全地域・東播磨地域・姫路地域でいずれも改善する予想となっています。

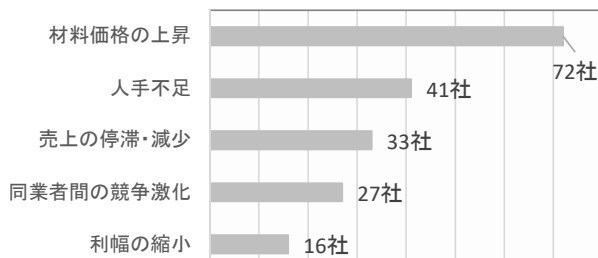


その他主要D.I.

売上額D.I.・収益D.I.・人手過不足D.I.は前期より改善し、資金繰りD.I.は低下しています。来期は今期実績と同じく、売上額D.I.・収益D.I.・人手過不足D.I.が改善し、資金繰りD.I.は低下の予想となっています。

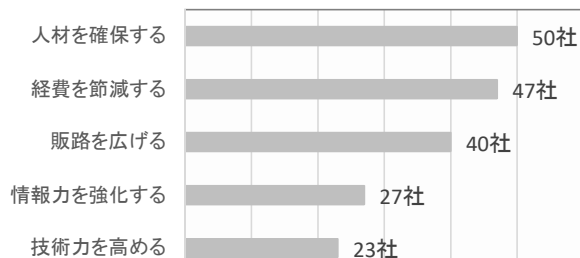


経営上の問題点(複数回答 上位5項目)

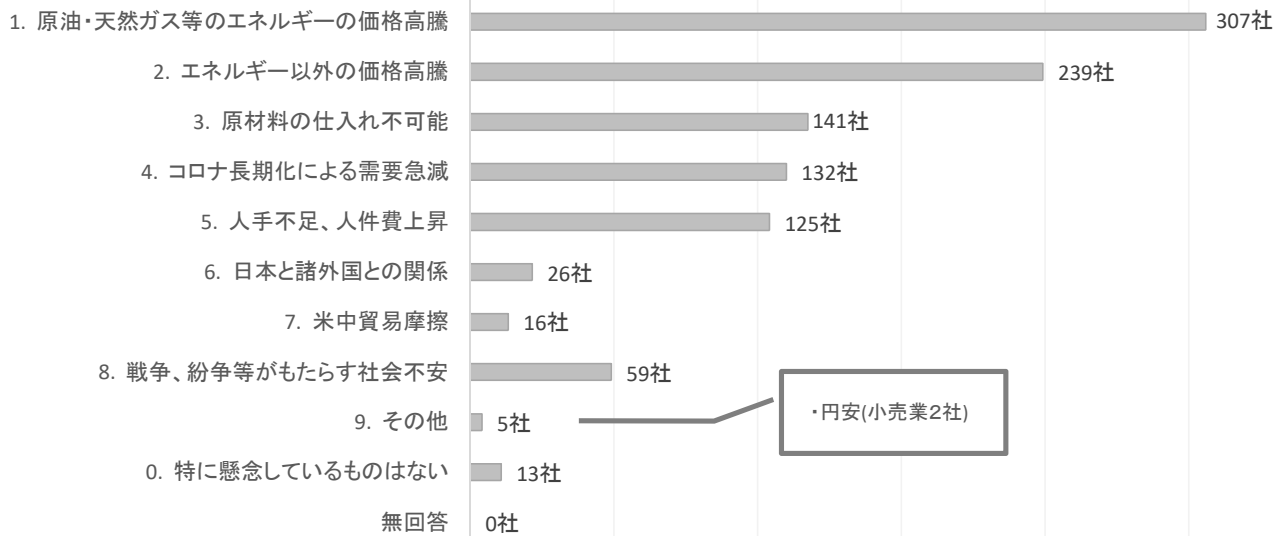


【その他の問題点】・資材確保 など

当面の重点経営施策(複数回答 上位5項目)



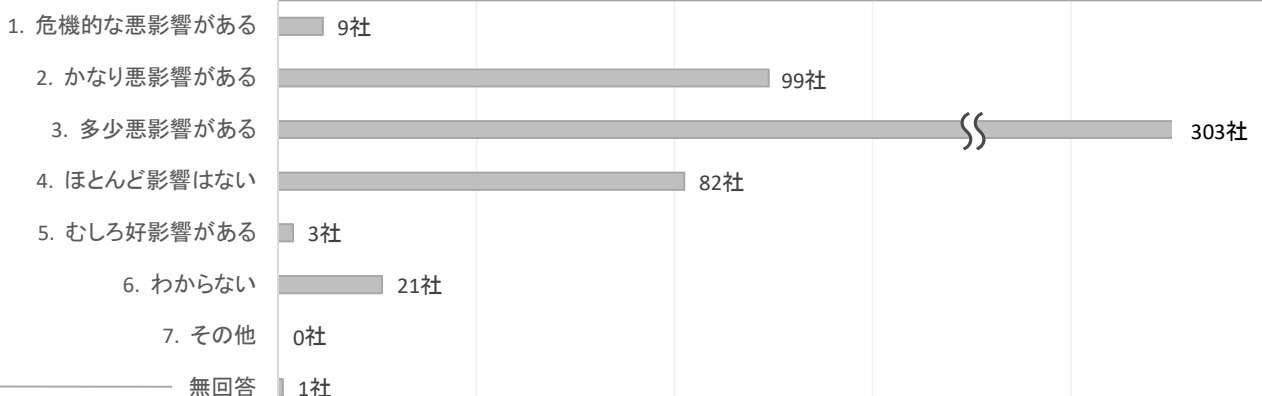
問1. 貴社では、最近の経済社会情勢について、特に懸念しているものはありますか。下記の1～0の中から最大3つまで選んでお答えください。



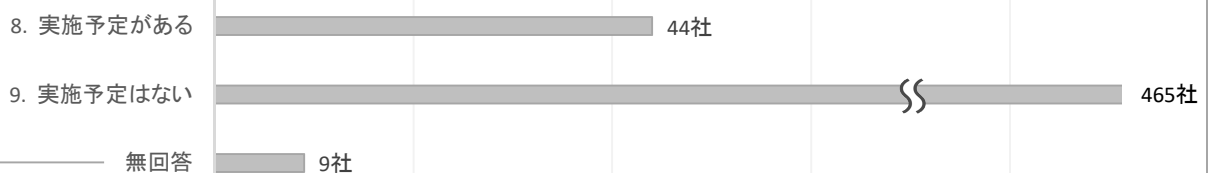
最近の経済社会情勢について特に懸念していることは「原油・天然ガス等のエネルギーの価格高騰」とした回答が最も多く 307社、次いで 239社が「エネルギー以外の価格高騰」、141社が「原材料の仕入れ不可能」となっています。

問2. 貴社では、最近の原油・天然ガスなどのエネルギー価格の上昇により収益にどのような影響を受けていますか。下記の1～7の中から1つ選んでお答えください。また、今後、省エネにつながる設備投資を実施する予定はありますか。下記の8～9の中から1つ選んでお答えください。

収益への影響



省エネの設備投資



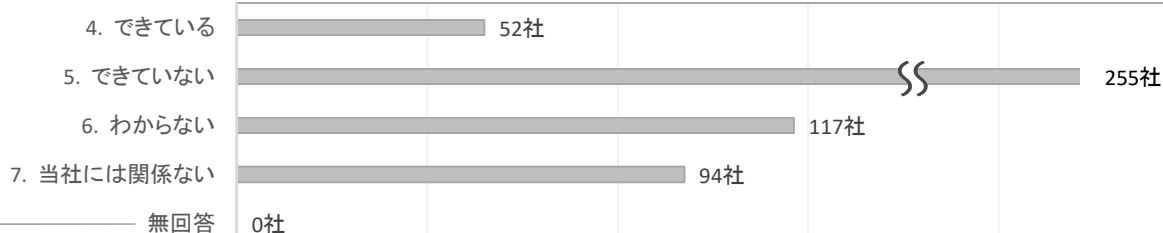
エネルギー価格上昇による収益の影響については、「多少悪影響がある」の回答が最も多く303社、次いで 99社が「かなり悪影響がある」、省エネの設備投資については 465社が「実施予定はない」となっています。

問3. 企業や団体などを標的としたサイバー攻撃による被害が数多く報告されています。貴社は、サイバー攻撃による被害を受けたことがありますか。下記の1～3の中から1つ選んでお答えください。また、サイバーセキュリティを確保するため、人材を確保し、態勢を整備していますか。下記の4～7の中から1つ選んでお答えください。

サイバー攻撃による被害



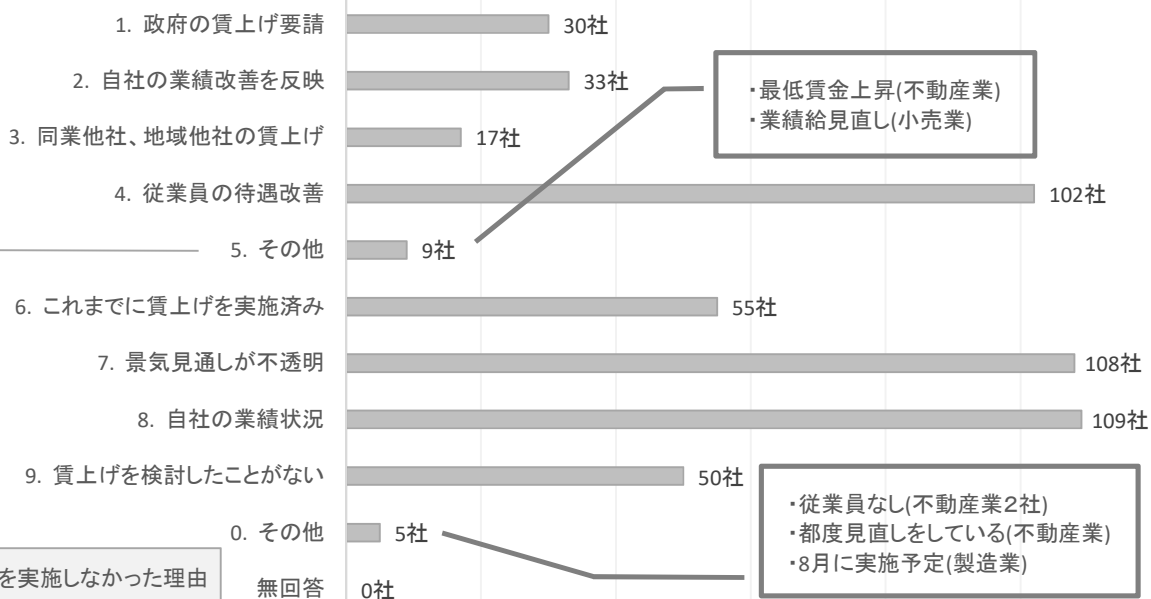
人材の確保・態勢の整備



サイバー攻撃による被害については、「攻撃を受けたことはない」とした回答が最も多く 499社、サイバーセキュリティの人材確保・態勢整備については「できていない」の回答が最も多く 255社となっています。

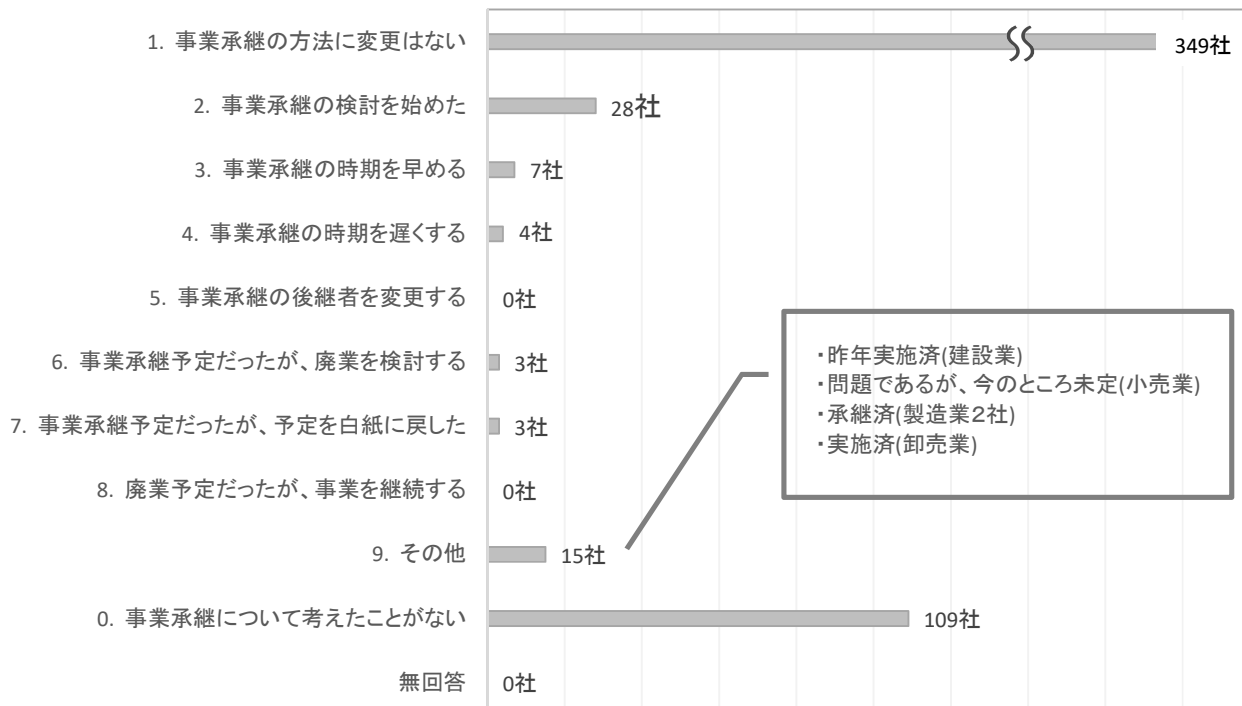
問4. 経済社会情勢の混迷のなかで政府から賃上げが要請されていますが、貴社では、今春、賃上げを実施しましたか。実施した場合は、その理由について、最もあてはまるものを次の1～5の中から、賃上げを実施しなかった場合は、その理由について最もあてはまるものを次の6～0の中から1つ選んでお答えください。

賃上げを実施した理由



賃上げの実施については、「自社の業績状況により実施しなかった」とした回答が最も多く 109社、2番目に多かったのは「景気見通しが不透明のため実施しなかった」で 108社、次いで 102社が「従業員の待遇改善のため実施した」となっています。

問5. 貴社では、コロナ禍を受けて、事業承継(M&Aを含む。)についての考え方に変化はありましたか。
次の1～0の中から1つ選んでお答えください。



➤ コロナ禍による事業承継(M&Aを含む)の考え方については、「事業承継の方法に変更はない」と回答した企業が最も多く349社、「事業承継について考えたことがない」と回答の企業が2番目に多く 109社となりました。

※ 本レポートは、標記時点における情報提供を目的としています。投資等についてはご自身の判断によってください。

※ 本レポート掲載資料は、当金庫が信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、当金庫がその正確性および完全性を保証するものではありません。

